

◎一部査証及び査証料の相互免除に関する日本国政府とポルトガル共和国  
政府との間の口上書にいう措置の一部改正

(略称) ポルトガルとの一部査証及び査証料免除取決めの一部改正

平成 十四年 四月 八日 東京で  
平成 十四年 六月 八日 効力発生  
平成 十四年 五月 十六日 告示

(外務省告示第一八五号)

目次

日本側口上書	.....
--------	-------

ページ

(日本国外務省から在本邦ポルトガル共和国大使館あての口上書)

(訳文)

No.653/CF

## 日本側口上書

### 口上書

外務省は、在本邦ポルトガル共和国大使館に敬意を表するとともに、日本国に入国することを希望するポルトガル国民に対する査証及び査証料の免除に関する千九百七十四年二月一日付け在本ポルトガル日本国大使館口上書に言及し、前記の口上書(1)の「ポルトガル本土(マデイラ諸島及びアソールズ諸島を含む。)」において発給された有効なポルトガル旅券(団体旅行身分証明書を除く。)(又はポルトガル本土(マデイラ諸島及びアソールズ諸島を含む。))において発給されたポルトガル旅券の代わりに再発給された有効なポルトガル旅券を所持するポルトガル国民」が二千二年六月八日付けをもって「有効なポルトガル旅券を所持するポルトガル国民」に改められ、日本国政府が、同日以降、前記のとおり修正された同口上書にいう措置をとることを同大使館に通報する光栄を有する。

二千二年四月八日に東京で

ポルトガルとの一部査証及び査証料免除取決めの一部改正

No. 653/CF

### NOTE VERBALE

The Ministry of Foreign Affairs presents its compliments to the Embassy of the Portuguese Republic and has the honour to refer to the Note Verbale of the Embassy of Japan in Lisbon dated February 1, 1974 concerning the waiving of visas and visa fees for the Portuguese nationals seeking entry to Japan, and to inform the latter that the term "Portuguese nationals in possession of valid Portuguese passports (excluding collective identity and travel certificates) issued in the Metropolitan Portugal (including Madeira and Azores Islands) or of valid Portuguese passports reissued in substitution of Portuguese passports issued in the Metropolitan Portugal (including Madeira and Azores Islands)" of paragraph (1) of the said Note Verbale will be deleted and replaced by the term "Portuguese nationals in possession of valid Portuguese Passports" as from June 8, 2002 and that the Government of Japan takes the measures described in the said Note Verbale as amended on and after that date.

Tokyo, April 8, 2002.

ポルトガルとの一部査証及び査証料免除取決めの一部改正

(参考)

この取決めは、昭和四十九年三月一日より実施されていたポルトガルとの一部査証及び査証料の免除取決めに關し、日本側が査証免除の対象とするポルトガル旅券を所持するポルトガル国民の定義を改め、平成十四年六月八日よりその措置をとることについて定めたものである。